

名称

目標と施策の整合化シート

期待するアウトプット

従来の年度計画は、目標と改善の方向性まで明確であるが、具体的改善施策は各職場で抽出、推進、実績管理されていることが多い。本シートにより、事業所総合目標と各職場の個別改善を完全に整合化し、改善担当者の目的意識高揚、事業所総合目標達成確度向上をはかる（改善目標と各施策の展開体系が明確になる）。各個別目標と改善施策の関連性が明確になることで、各施策の狙いを従業員が理解できることと、部門を越えて施策の関連性を共有化できることもメリット。

構成

① 目標と施策の整合化シート

- 事業所の総合目標
- 総合目標の目標展開
- 展開された各目標を達成するための施策
- 施策ごとの月次効果目標
- 施策ごとの月次実績成果
- 施策ごとの月次効果予測
- 担当者

使用目的と特徴

年度開始前に作成し、事業所の年度改善計画として従業員が理解できるように掲示する。掲示したものは朝礼などで事業所長など幹部が従業員に説明。本シートを通して年度改善計画（目標と施策）の共有化をはかる。

シート開発・設計のポイント

従業員が共有化するためのものなので、目標はできるだけわかりやすい（数値化）ものにする。また目標達成の施策は平易な表現を原則とする。また、掲示する場合は大きなもので（1m×2mくらい）作成する。

シート活用・展開のポイント

新年度開始前に作成し、事前に共有化をはかる。そうすることで、新年度開始と同時に活動がスタートできる。各部門の実行施策をオープンにし、従業員全員で共有化させ、互いの助け合い精神を醸成する。

